

王北通信

令和8年9月1日 第14号

<https://www.town.oji.nara.jp/kitagimukyo/communication/9787.htm>



1学期の終業式は1～4年、5～9年ごとに集まり2部制で行いました。集まることに意義があると考えています。5～9年の式では、児童生徒会長からのメッセージもありました(^-^)

***** 元気な顔がそろって2学期が始まりました *****

いよいよ2学期が始まりました。今日、久しぶりにみなさんの笑顔と出会えて、とてもうれしいです。みなさんの元気なあいさつから、温かい素敵な気持ちをプレゼントしてもらいました。どうもありがとう。それぞれに有意義な夏休みを過ごしてくれたことだと思います。楽しかった思い出もあるでしょう。でも、もっとできたとか、こんなこともすればよかったという後悔もあるでしょう。後悔が残ったことについてはこれから頑張ればいい。私も夏休みが終わるたびに後悔ばかりしていました。その後悔が次の成長の原動力になるよう、気持ちを切り替えて、2学期の日々を全力で過ごしていきましょう。

今日から、また学校で友達と一緒に過ごす毎日が始まります。夏休みに旅行に行った人もいますが、これからは仲間と一緒に2学期という旅に出ます。これまでと同じく楽しい旅にしましょう。みんなが楽しい旅、2学期にするために、そしてみんなで楽しむ2学期とできるように、まずは自分自身のことをしっかりと考えてください。自分のしなければならぬことをしっかりとやる、そのことから始めましょう。そして、次には友達はどのようにしているのか、困っている人はいないか、まわりを見回してください。いつもどこかで友達のこと、仲間のことを気にかけ、自分も仲間もみんなが楽しい、みんなで楽しむ2学期の毎日を、みんなでつくっていくことができると思います。

私はみんなの笑顔が何より大好きです。そんなみんなの笑顔があふれる2学期になるように、私もいつもみんなのことを気にかけて、考えていきます。みんなも自分のことと同じくらい友達のことや下の学年の人のことをいつも気にかけ、困っているときには助け合ひましょう。2学期もみんなの素敵な笑顔が、たくさんたくさんあふれる北義務にしていってください(^-^)

北葛城郡中学校英語暗唱大会がありました

8月21日に、郡の中学校英語暗唱大会が河合町立公民館を会場に行われました。それぞれに自分で書いたり選んだりした英文を暗唱して披露する大会で、北義務からも3名が出場しました。自分の言葉

で語りかけたり、身振り手振りを加えて表現したりと、何度も練習したことが伝わってくる素晴らしい暗唱でした。他校の人たちの表現も面白い、互いの刺激になったことでしょう。これからも自分の表現力を磨き高めていってください(^-^)



楽しかった北義務祭（1学期）

1学期に行った北義務祭。昼休みに大階段下や体育館で、進んで出演を希望した人たちが自分の好きなことや得意なことを発表しました。また、発表した人たちを盛り上げ、一緒に楽しんだフロアのみならず。おかげで、舞台の人たちはいつも以上の力を発揮できました。頑張る仲間をみんなで応援する。応援される人の心も、応援する人の心も温かくなる。温かい心がつながり、広がり、互いを高め合う素敵な仲間になっていることを強く感じました。



8年生の技術・家庭科の学習（1学期）で……

8年生の技術・家庭科の家庭分野で取り上げられている「和服」。赤木先生が、着付け教室のみなさんから実際に浴衣の着付けを学ぶ機会をつくってくださいました。和服の美しさやよさなどを味わうことができる時間となりました。みんなよく似合っています(^-^)



高学年、後期課程のみんなへ

高学年、後期課程のみなさん。みなさんが中心となってこの学校を動かしていきます。北義務の2学期をみなさんに託します。様々な学年の人が集まり、様々な性格や考え、得意ふとくいの仲間が学校にはいます。でも誰もがその人なりに毎日を気持ちよく過ごす権利をもっています。互いの権利を大切に合える学校にしていきたいと思います。まずは身近な学級の仲間、学年の仲間から、互いの権利を守り合ってください。そして、下の学年の人たちのことも気にかけてください。

1学期の終業式でも伝えましたが、まわりの人の自分とは違う感じ方や考えを尊重しましょう。人の短所に気付いたときは、自分にも短所があることを思い出す機会です。人の長所に気付いたときは、自分にもある長所が何かを探る機会です。そんな広い心で認め合う。同じ学年の仲間も、他の学年の人たちも。そんな北義務にしていってください。北義務のメンバー一人一人が、互いに互いのよさを学び合い、2学期という旅だけでなく、それぞれの人生の旅を充実した旅にできるよう願っています。